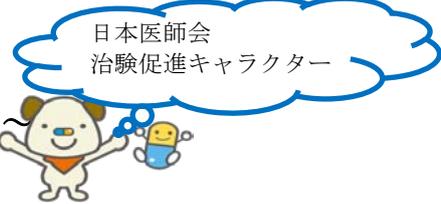


1 活動テーマ

治験啓発活動

～治験の必要性と新薬が生まれるまでのプロセスを学ぶ～



2 活動の概要（活動の背景及びニーズ、目的、期待される活動成果、共同実施者の役割分担）

【活動の背景及びニーズ】

治験は、新しい医薬品および医療機器の承認に必須のプロセスです。しかし、我が国の新薬の導入は、欧米各国に比し約1.5年遅れおり、厚労省は文科省と共同で2003年度から治験活性化計画を開始しています。三重県においても、2003年より三重県（行政）、三重大学、三重県医師会・県内医療機関が連携・協力して治験を行う“みえ治験医療ネットワーク”（運営事務局：NPO法人みえ治験医療ネット）を構築し、全国でも有数の治験実績を有する治験ネットワークに成長しました。“世界に遅れることなく、日本の患者様に優れた医薬品を提供する”ためには組織の基盤整備だけでなく、被験者である患者様の積極的な自由意志による参加が必須であり、そのためには地域の皆様への治験啓発活動が極めて重要です。

【活動内容】

三重大学病院臨床研究開発センターCRCがみえ治験医療ネットワーク参加基幹病院に出向き、その病院の治験支援担当者と連携・協力して治験啓発活動を行いました。

①実施施設と期間

治験啓発活動実施スケジュール

実施施設医療機関	実施予定期間
11 三重大学医学部附属病院	2009/ 1/26 ～ 2009/ 1/30
15 松阪市民病院	2009/ 5/25 ～ 2009/ 5/27
3 三重県立総合医療センター	2009/ 6/15 ～ 2009/ 6/17
5 四日市社会保険病院	2009/ 8/ 3 ～ 2009/ 8/ 5
8 鈴鹿中央総合病院	2009/10/ 5 ～ 2009/10/ 7
13 三重中央医療センター	2009/11/ 9 ～ 2009/11/11
16 松阪中央総合病院	2009/12/ 7 ～ 2009/12/ 9
18 市立伊勢総合病院	2010/ 2/ 8 ～ 2010/ 2/10
19 山田赤十字病院	2010/ 3/ 1 ～ 2010/ 3/ 3
14 済生会松阪総合病院	2010/ 5/10 ～ 2010/ 5/11
9 鈴鹿厚生病院	2010/ 6/ 7 ～ 2010/ 6/ 8
三重病院	2010/ 7/ 5 ～ 2010/ 7/ 6
22 岡波総合病院	2010/ 8/ 2 ～ 2010/ 8/ 3
12 遠山病院	2010/ 9/ 6 ～ 2010/ 9/ 7

臨床研究開発センター専用 公用車プリウス

成21年度は8病院で計24日間実施しました。啓発活動は平日の午前中に実施しました。

詳しくは臨床研究開発センターホームページをご覧ください。

②活動で用いた資料の一覧 図や漫画を用いて説明をしました。

- ・ 展示パネル
- ・ 上映ビデオ
- ・ パンフレット

社団法人 日本医師会 治験促進センター提供

キャンペーン風景

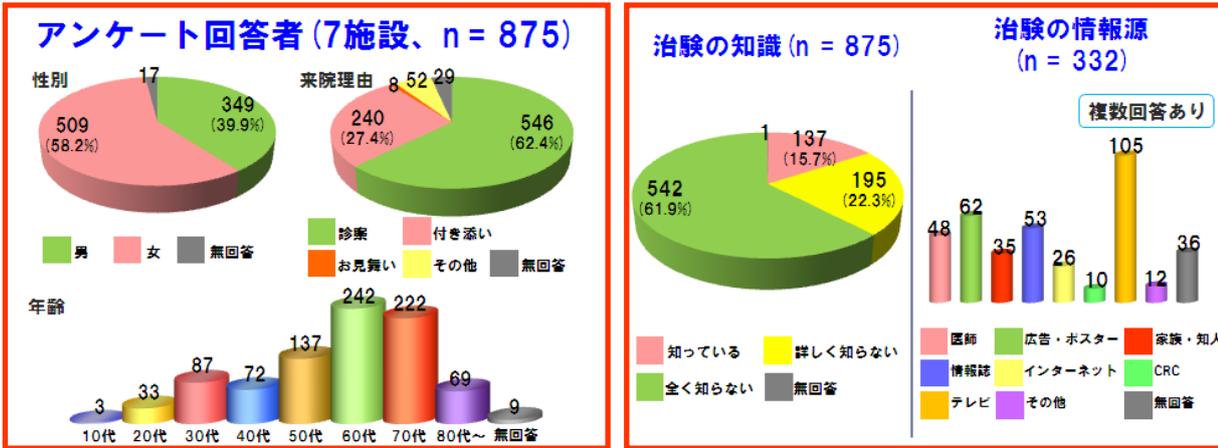
治験の詳細は臨床研究開発センターHPをご覧ください。

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/chiken/index.html>

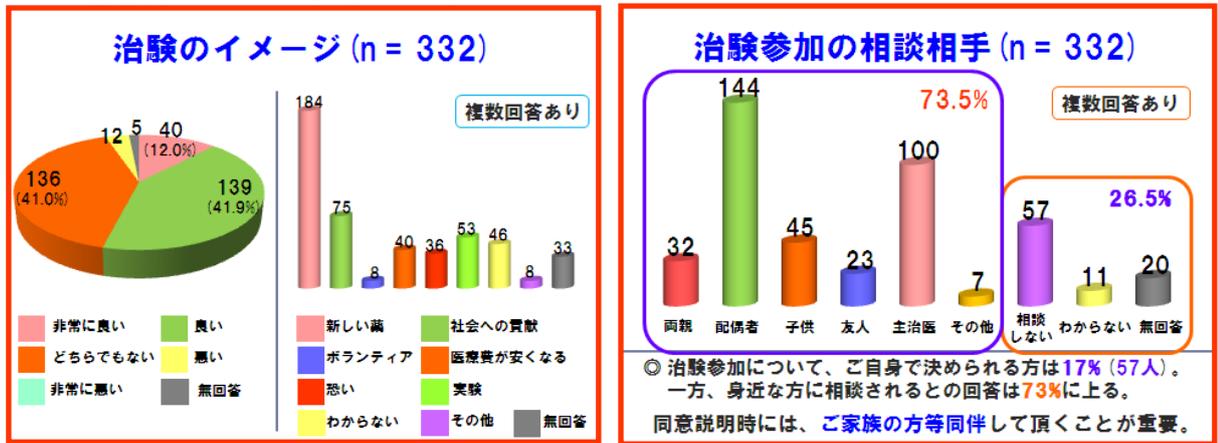
3 活動結果

①参加していただいた方にアンケートを取りました。

(松阪市民病院2009/5/25～市立伊勢総合病院2010/2/10の7施設を集計した結果です。)

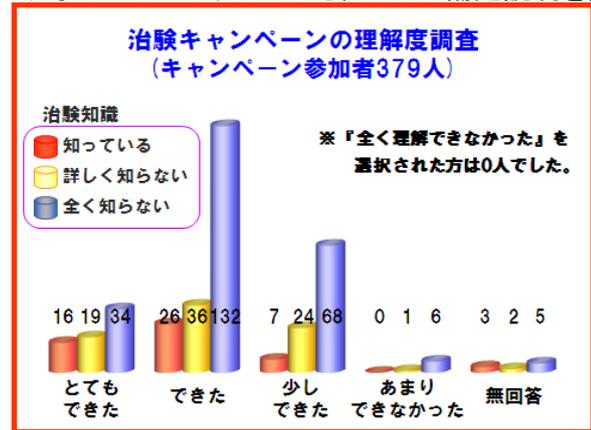


今回は7施設で875人の方からアンケートを回収しました。回答者は60～70歳代の方が多数でした。治験の知識は「知っている」が137人、「詳しく知らない」が195人と、「知識あり群」は332人でした。その方々の情報源はテレビが多数でした。



「知識あり群」の治験イメージは、「良い」が41.9%で、「新しい薬」「社会への貢献」「実験」等を具体的なイメージ

ビデオやパンフレットに加え、CRCの補足説明を受けた方は379人いました。



CRCが患者様に補足説明をした後の理解度は、「知識あり群」も「知識なし群」も「とても理解できた」「理解できた」と回答される方が多数でした。

4 成果と課題

治験啓発活動の場を広げることで、より広い地域住民圏に治験の正しい知識を普及できると共に、住民のニーズを直接収集できました。また、県や各施設の職員と意見交換をすることができました。この啓発活動は平成22年度も継続します。今後は病院間または地域間での治験認識度の違い等について解析し、より具体的な方法で地域住民の皆さんと知識を共有していきたいと考えています。